

第2回 大分川・大野川水系流域治水協議会

1. 概要

流域治水プロジェクト最終とりまとめ（案）について審議を行い、承認された。流域治水プロジェクトの公表時期は3月末の予定である。

2. 実施状況

- 日時：令和3年3月1日（月）10:00~11:00
- 場所：大分河川国道事務所 別館会議室（WEB会議）
- 出席者：大分市長、竹田市長、豊後大野市長、由布市長（代理）、大分県生活環境部防災対策企画課長、土木建築部河川課長、砂防課長、公園・生活排水課長、建築住宅課長（代理）、都市・まちづくり推進課長（代理）、農林水産部農村基盤整備課長、森林保全課参事監兼課長（代理）、森林整備室長、中部振興局農林基盤部長（代理）、豊肥振興局農林基盤部長、豊後大野水利耕地事務所長、大分土木事務所長、竹田土木事務所長、豊後大野土木事務所長、農林水産省九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所長、林野庁九州森林管理局大分森林管理署長（代理）、森林研究・整備機構森林整備センター大分水資源整備事務所長、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長

3. 議事内容

- ①規約の改正について
- ②流域治水プロジェクト最終とりまとめ（案）について
- ③その他（公表時期について）

4. 流域治水プロジェクト最終とりまとめ（案）の審議 委員に説明し、内容について承認された。

5. 意見

●大分市長

- ・国と自治体間で連携して取り組むことが大事だと思っている。
- ・中小河川の監視カメラの増設や貯留・浸透施設の検討が必要である。
- ・ため池や用水ダムを事前放流のための水利権者や電力会社との連携も重要。
- ・災害危険区域の検討はバランスについて考えていく必要がある。
- ・立地適正化計画については、防災指針の作成に向けて検討を進めたい。

●竹田市長

- ・水田の保水機能は耕作放棄地をなくす戦略を考える必要がある。
- ・森林から流出した流木による氾濫（橋梁に引っかかる）の解消が課題。
- ・森林を伐採して備えている。

●豊後大野市長

- ・貯留・浸透での対策はそぐわないと考える。
- ・治山治水の整備推進が大事だと思っている。

●由布市 副市長（代理出席）

- ・氾濫を出来るだけ防ぐ対策として雨水貯留施設整備について、どの位の整備をするとどの程度の効果があるのか規模感を示す必要がある。



大分河川国道事務所
所長 樋口尚弘



大分市
市長 佐藤樹一郎



竹田市
市長 首藤勝次



豊後大野市
市長 川野文敏



由布市
（代理）副市長 小石英毅